

# 中国市場の拡大は日本経済復活の大きなチャンス

— 「中国進出が日本経済の空洞化を招く」との見方は事実誤認 —

中国経済は力強い高度経済成長を継続している。短期的には、日米欧の先進国経済が低迷を続ける中、世界経済の牽引車はエマージング諸国であり、その中核は中国である。長期的にも中国のGDPは今後10年以内に米国を上回り、世界の経済大国となる可能性が高い。現在、中国の経済規模は米国の4割に過ぎないが、これから10年以内に米国の6割に相当する巨大市場が中国国内で生まれる。それに加えて、最近の所得水準の急速な上昇により中国市場のニーズが高度化し、日本企業の製品・サービスへの需要が急増している。このチャンスを活かし、多くの日本企業が収益を拡大すれば、日本経済は確実に復活する。日本の中央・地方政府には中国進出による日本経済の空洞化を懸念する見方が多い。しかし、過去および現在の事実から見てその空洞化論は事実誤認である。日本経済が復活すれば、震災復興のための増税も不要となる。どうすればこのチャンスを日本経済の復活につなげることができるか？政府の経済政策と企業の経営戦略の両面においてそのために必要な施策を提示する。

## 概要

日時 : 2011年9月8日(木) 13:30-15:30 (受付開始 13:00)  
 場所 : LEVEL XXI (レベル21)  
 (東京都千代田区大手町2-2-2 アーバンネット大手町ビル21F )  
 主催 : 一般財団法人 キャノングローバル戦略研究所 ( <http://www.canon-igs.org> )  
 定員 : 150名  
 参加費 : 無料

## プログラム

13:30-13:40	開会挨拶	キャノングローバル戦略研究所理事長 福井俊彦
13:40-15:00	講演	中国市場の拡大は日本経済復活の大きなチャンス — 「中国進出が日本経済の空洞化を招く」との見方は事実誤認— キャノングローバル戦略研究所 研究主幹 瀬口清之
15:00-15:30	質疑応答	

## 講演者

### キャノングローバル戦略研究所 研究主幹 瀬口清之

キャノングローバル戦略研究所研究主幹/アジアブリッジ(株)代表取締役  
 1982年東京大学経済学部卒業後、日本銀行入行。1991年4月より在中国日本国大使館経済部書記官、帰国後1995年6月より約9年間、経済界渉外を担当、2004年9月、米国ランド研究所にてInternational Visiting Fellowとして日米中3国間の政治・外交・経済関係について研究。2006年3月より北京事務所長。2009年3月末日本銀行退職後、同年4月よりキャノングローバル戦略研究所研究主幹、杉並師範館塾長補佐(2011年3月閉塾)。2010年11月、アジアブリッジ(株)を設立。2011年4月、筑波大学客員教授。

### 瀬口研究主幹メール配信の申込み

中国経済の動向を中心とした最新の情報を配信しています。  
 ご関心のある方は下記URLよりご登録ください。

[https://f.msgs.jp/webapp/form/14638\\_arv\\_12/index.do](https://f.msgs.jp/webapp/form/14638_arv_12/index.do)

なお、ご登録いただきます個人情報は、キャノングローバル戦略研究所からの連絡、当研究所が行うシンポジウム・セミナーなど諸会合のご案内、及び発行物の発送にも利用させていただきます。

講演会事務局  
 03-6213-0550(代表)  
[economics@canon-igs.org](mailto:economics@canon-igs.org)